

令和4年度第2回 静岡市みどりの基本計画改定専門委員会会議録

- 1 日 時 令和4年10月18日(火) 14時～16時
- 2 場 所 静岡市役所 本館4階 44会議室
- 3 出席者 (委員) 川口委員長、浅見委員、荒井委員、大石委員、大久保委員、岸委員、永田委員、森田委員
(事務局) 鈴木緑化政策担当部長、桑原緑地政策課長、吉川係長、大滝副主幹、池谷主査
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 題 (1) 前回審議内容の振り返り(第1章から第3章3-2まで)
(2) 第3章3-3 将来像の実現に向けた評価指標
(3) 第4章 将来像を実現するための施策

6 会議録

- (1) 前回審議内容の振り返り(第1章から第3章3-2まで)について

- 森田委員 本編P23と概要版のグラフに違いがある。
- 川口委員長 概要版が最新のため本編を差し替える。
- 川口委員長 P3の官民連携の項目名を検討する。P49からのところにウォークブルを追記する。
- 岸委員 P27の④の462件について、民間施設からどの程度協力を得られているのかが読めない。公共施設と民間施設を分類した件数や大きな民間開発のうちどの程度が協力している等の記載が必要である。
- 川口委員長 合計数を公共と民間で分け、母数については公共と民間で分けられるか検討する。
- 森田委員 件数の推移が分かると良い。
- 事務局 民間については努力義務化だが、ほぼ5%以上で実施いただいている。かなり緑化に協力いただいていると感じる。
- 森田委員 それが記載に表現できると良い。

- (2) 第3章3-3 将来像の実現に向けた評価指標について

- 川口委員長 緑視率についてはP21に記載にある地点が対象か。
- 岸委員 達成指標2について、P64とP65で整合が取れていないのではないかと。
- 事務局 達成指標2について、P64の記載をP65に合わせて修正する。
- 岸委員 達成指標2について、今の整備ペースを維持するだけなのだが、見方によっては、これまで以上に公園整備を頑張るというメッセージに感じてしまうため記載に工夫が必要である。財政が厳しい中で、今まで

通り、公園面積を増やしていただくだけで立派な項目だと思う。

川口委員長 これまで以上の整備の必要はないが、記載の内容を検討いただく。
森田委員 中期目標、長期目標の年次について明確にした方が良い。
達成指標3の緑視率について、どこが15%、25%なのかが分からないので記載方法に修正が必要。具体的な地点を上げた方が分かりやすいのではないかと。

事務局 公園緑地の整備ペースについて、年間1.27haの整備を維持するで問題ないのか。そんなに整備を進めることができるのか。
東北の方の復興が落ち着けばもう少し整備面積が増える可能性もあると考えている。

森田委員 それなら良い。
荒井委員 達成指標3について、緑視率について景観計画のポイントと連動しているのか。
事務局 連動していない。
荒井委員 景観計画と連動させた方が良い。
果たして緑視率のパーセントが上がるだけで良いのかという点についても検討が必要ではないか。例えば、植栽の地域性への配慮等の視点も必要である。

事務局 ある程度市の方で植えていく意思、財源があれば増えるだろうという想定のもとで設定している。
荒井委員 数値はすべて25%を満たすべきなのか。
事務局 増加させたい場所についてポイントを設定している。
荒井委員 緑視率以外の質の向上等もあるので、数値以外での達成もできるという表現を含めた方が良い。

川口委員長 ポイントの絞り込みについて、視点の意味合い等について整理が必要である。地域性を把握している私としてはポイントの設定に概ね疑問はないが、質については記載が必要ではないか。アウトカムの部分の質の部分につなげるような検討と達成指標を設定する地点については精査が必要である。

浅見委員 達成指標1について、保安林区域は保護法でコンクリートにする等による面積の減少は、面積が少ないから変数としてとらえないという理解で良いか。また、樹木等の保存樹林は面積に含まれないのか。
事務局 静岡市で大きく変わる可能性があるのは農振農用地であり、他については大きな減少はないと考えている。変わっていく数字としては、主には公園が増えていく、その他は生産緑地が宅地に置き換わっていく可能性はあるが、都市農地は活用していく方向なので減少させない方向で考えている。保存樹林については加算する数字を含めて検討させていただく。
浅見委員 例えば5年後に農振農用地等で減少があれば数字に表れてくるのか。
事務局 表れてくる。

事務局 生垣補助等も想定しており、そういったものとリンクして増加していくという期待を込めて設定している。

岸委員
事務局 達成指標が成果指標にどう効いてくるのかを記載した方が良い。
生垣補助や花苗配布等、事業仕分けで頭打ちになっているものを復活させていくことを考えている。

岸委員
川口委員長 アウトカムの2つを達成するための施策を整理した方が良い。
各方針とそれがアウトカムにつながっていくところが記載されていると、つながりが見えやすくなるのではないか。分かりやすい整理があると良い。

(2) 第4章 将来像を実現するための施策

川口委員長 個別の指摘や欠けている視点の指摘等をお願いしたい。
大内新田の公園は、今回の内水被害により関心が高まっているのではないか。非常にさらっと書かれていて、もう少し喫緊の課題として記載した方が良いのではないか。分野横断での言及の仕方で工夫が必要である。

事務局 同じご指摘を木下先生からもされていて、事業として動いているならもっと説明をした方が良い。地域課題に対する計画内容について記載すべき。それに加えて、グリーンインフラからの説明も足りない。グリーンインフラの2番、3番についても少し説明が足りず、雨水流出抑制の既存の取組についても記載するように言われた。ヒートアイランドとウォークアブル推進都市についても記載した方が良い。

大久保委員 観光の視点について、市民と来訪者の視点でいくと駿府城公園が核になると思うのだが、整備がすごく進んでいるので、その進捗状況を市民に伝えられると良い。みどりの基本計画に落とし込むかは検討が必要である。

川口委員長 イベント、公園、観光の3者の上手い関係があると良い。観光と公園をうまくつなげているような事例はあるか。

大久保委員
永田委員 市民が使っている公園は観光客も来訪するのではないか。
緑視率と緑被率が混在しているがどのような整理となっているのか。緑視率について、石田街道などは歩行者の安全性を考えると樹木を植える必要がある。一方で、利用者の安全性という意味合いでは、外から視線が通るということも重要である。

事務局 緑視率については誤りである。

川口委員長 現状でも公園内で繁茂した低木を伐採する等の取組がされているが、公園整備における公園の安全確保について防犯の面からの記載が欠けており、記載が必要である。

大石委員 大浜公園の整備について、具体的にどうしていくのかというプロセスや年度別に何を優先するのかという記載が必要である。

川口委員長 実行計画は今後の取組として検討する予定である。市民の参画や協働

を促すためには、公園整備のプロセスが市民にきっちりと伝わる
ことが重要となる。市民との情報共有のような記載が基本方針4の前提
にあると良い。水害の際の情報提供等、市民との情報共有のブラッシュ
アップについて是非検討いただきたい。

浅見委員

OECMの面積について目標との関連が重要となる。

計画期間が2030年を超えてしまうので、この計画の中で国土の30%
を実現してほしい。

静岡市が麻機緑地を登録するという先進的な取組をしており、その件
を記載した方が良い。施策にもOECMの記載が必要となる。

麻機緑地だけでなく、鯨が丘周辺、牛妻水辺の楽校、大内新田公園な
ども登録できる。

P97に生物多様性の視点が抜けている。

OECMについて、色々なところに関わるので、指標としてあげても良い
のではないかと。

川口委員長

OECMについて各所に書き込むのか、どう解決すべきかは事務局で検討
が必要。

事務局

環境部局と調整させていただく。

荒井教授

みどりの部局を中心にグリーンインフラを実現する連携して行って
いただきたい。

公園全体に対する計画は持たれているか。

事務局

大規模公園の整備と身近な公園整備の2本柱で進めていきたい。

荒井教授

「賑わい公園づくり」等の計画があってもよいのではないかと。

岸教授

評価指標については施策の後に記載した方が流れがすっきりするの
ではないかと。基本方針に基づく施策があり、それらによる達成指標が
あるという流れが良い。

以上